

5. ダイバーシティの風を三重から起こす

三重県は、ダイバーシティ先進県をめざし取組を展開していくとともに、県内の市町や企業・団体と連携し進めていきます。

ダイバーシティの推進は、行政のみならず、県民の皆さんの行動につながるものが重要であるとともに、新しい価値を創造するものです。まさに県民の皆さんとともに進める協創です。

まずは、ダイバーシティの考え方の浸透を県内で図っていくことが必要です。2017～2019年は、始動・浸透を中心とした段階と考えます。

2020年～2021年には、東京オリンピック・パラリンピック、三重とこわか国体や全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）が開催され、ダイバーシティについて、考え行動するひとつの転機になると考えます。これらを契機とし、県民の皆さんの行動によりつなげていく発展の段階と考えます。

2022年以降は、県民の皆さんの行動が拡大していく時期と捉えます。2027年のリニア中央新幹線の東京・名古屋間開業や2033年の式年遷宮の頃には、三重はダイバーシティ社会を実現し、さまざまな人々の交流が量・質ともに今より劇的に変化する中で、その状況を生かしつつ、社会はより成熟し、一人ひとりが活躍していることをめざします。

今こそ、多様性を強みとする三重だからこそできる、誰もが希望をもって挑戦、活躍できるダイバーシティ社会の実現に向け、社会全体で力を合わせ取り組んでいきましょう。

三重の未来、そして日本の未来のため、ダイバーシティの風を三重から起こしましょう。